

- ◎開催日時 令和8年2月24日（火） 午後3時00分～午後4時40分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員、中村教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 高嶋教育次長、唐澤学校教育課長、矢澤教育環境整備課長 北澤市誌編さん室長、
小松指導主事、高嶋指導主事、
村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長
酒井学習課長補佐（柴生涯学習課長の代理）、竹松教育コーディネーター、
大澤文化財係長、北原教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・卒業式の時期が近づき、卒業式という1日に向けて、1日1日を刻んでいる。当日は良き締めの日となって欲しいと願っている。学校によっては、卒業式に出られない子どもに、卒業証書を校長室で渡す、もう一つの卒業式を準備している。改めて、卒業式の重みを感じている。
- ・2月20日に3月議会が開会し、初日に令和8年度の運営方針について述べさせていただいた。お手元に原稿をお配りしたので、ご覧をいただけたらと思っている。一人一人に確かに届く着実な歩みを、営みを重ねていかなければならないと改めて思っているところである。
- ・教育委員の皆様には、引き続きご協力、お力添えをお願いしたい。

3 委員の一言 黒河内委員

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・2月2日は、商工会議所の青年部から、竹馬を各小学校へ2対ずつ贈呈いただいた。11月に実施したイベントで、参加者の皆様からいただいた寄付金をもとに、各学校の子どもたちとということで用意いただいたものである。
- ・2月7日は、伊那小学校公開授業。教育委員の皆様にも足をお運びいただき、感謝申し上げます。1700余名の県内外の先生方に来ていただいて、授業を見ていただいた。教師の伴走支援のあり方、良い学びの場であると改めて思った。多くの学校外の力を得ての学習活動と改めて感じた。
- ・同日午後は、伊那弥生ヶ丘高校将来活用のプレゼン大会。市民、約20名の方からの活用の提案発表があった。文化芸術の拠点としての多目的施設や、子どもから大人までの学びの場ということを中心の据えながら、様々なアイデアが出されていた。学ぶということについて、改めて考える機会となった。
- ・2月16日は、人権同和教育研修会。講師の原先生は飯田の歴史研究所の方で、竹内さんは西箕輪の在住。上伊那の農地を開墾した、農耕隊、朝鮮兵について、講演をいただいた。戦争末期に、朝鮮からの動員、農耕機動勤務隊として市内の学校等に寝泊まりして、上伊那各地の広大な土地を開墾したという埋もれた歴史があったという話をお聞きした。末期のわずかな期間にこうした事実があったことを知ることができ、人権について改めて考える機会となった。
- ・2月17日は、本年度最終の伊澤修二音記念楽祭実行委員会。来年度の40回大会に向けて、子ども達と藝大とで作る音楽会というコンセプトのもと、伊澤修二音楽フェスティバル、副題として、「東京藝大と子どもたち集う1日」と、名称を新たにし、3部構成による音楽祭にし

ていくことが、実行委員会によって確認された。藝大との連携40周年記念事業も、この3月の末、高遠美術館で卒展が予定されている。その他、いくつかのイベントを予定しているが、この機会を生かして連携のさらなる発展に寄与できたらと考えている。

- ・2月22日は伊那市消防団音楽隊の定期演奏会があった。文化会館第ホールが満席になるような会で、ラッパ隊、市内5中学校吹奏楽部、ジュニアアンサンブルクラブと合同演奏は170名を超える演奏会であった。迫力、聴き応えがあるものだった。中学生にとっても、あれだけの大勢の中でできる貴重な経験となったと感じている。

第2 議案

(1) 議案第1号 伊那市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

全会一致 承認

第3 報告事項

(1) 令和8年度教育委員会関係予算の概要について

- ・教育次長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「P126の文化振興、実施事業の俳句大会について、予算が83,000円となっているが、以前にも指摘をしたとおり、受賞に制限を設けず、子どもたちの良い作品を選定していただきたい。」旨の意見があった。
- ・教育委員から「公民館で行う中学生自習室について、Wi-Fi設備はどのようになっているか。今後はどのようにしていくのか。」旨の質問があり、
教育環境整備課長から「公民館は、モバコを活用などのためのWi-Fiの設備はあるが、昨年時点では、公開しての利用はしていなかったと思う。そういったものを活用すれば、特定の子どもが集まって勉強するときに、利用することが技術的には可能と思われるが、そのあたりを担当がどう考えるかというところだと思う。」旨の回答があった。

(2) 「中学生の自習室2026冬」の実施報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(3) 令和8年度学校給食費について

- ・教育環境整備課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「世間一般には、給食費は無償化とされている。来年度は無償であるが、その後は未定とのことだった。次の年度が無償とならない場合は、クレームにつながる可能性があるため、よく説明しておくことが必要と思う。」旨の意見があった。

(4) 令和8年春季企画展「東京藝術大学連携40年展」について

- ・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明
- ・教育委員から「とても良い企画であり、期待をしている。タイトルの藝大卒展というのは、一般的にどのようなものか。」旨の質問があり、
生涯学習課長補佐から「卒業される学生さんたちの作品展である。大学では、例年、1月末

に作品が集められ展示されるが、その展示の一部を持ってきて展示するものである。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「そうした内容が、広く浸透する良いと思う。メディアへの働きかけを、進めてもらいたい。」旨の意見があった。
- ・教育次長から「チラシの裏面にあるとおり、卒業生の作品の中から、特に優秀な作品17点をサテライト展とした対応。PRに努めていきたい。」旨の説明があった。

- ・教育委員から「学長のトークイベントについては、話すテーマを書いた方が良いのではないか。何についてのテーマなのか。」旨の質問があり、
生涯学習課長補佐から「手元に資料がなく、内容を確認しておきたい。」旨の回答があった。
- ・教育長から「この部分については、この部分のみで、周知していく方法を考えてもらいたい」旨の意見があった。

- ・教育委員から「出展者に長野県出身の方はいるのか。」旨の質問があり、
教育長から「そういった選考はしていないものと思われるが、確認をしておいてほしい。」旨の意見があった。

(5) 人権同和教育事業について

(社会教育指導員は諸事情により欠席のため、次回定例会にて説明とする。)

(6) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(7) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(8) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他(教育次長)

- (1) 次回定例会について
- (2) 4月以降の主な行事予定について

6 閉 会